

FUJITSU PC ESPRIMO

ESPRIMO K555/H

# BIOS セットアップメニュー 一覧

---

インテル、およびIntelは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporation  
またはその子会社の商標または登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。  
その他の各製品は、各社の著作物です。  
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright FUJITSU LIMITED 2013

# BIOSセットアップメニュー詳細

BIOSセットアップのメニューについて説明しています。  
BIOSセットアップのメニューは次のとおりです。

メニュー	説明
情報 (→P.2)	BIOSやパソコン本体についての情報が表示されます。
システム (→P.3)	日時や言語、ドライブの機能などを設定します。
詳細 (→P.3)	CPUや内蔵デバイス、周辺機器などを設定します。
電源管理 (→P.5)	停電復旧時の動作や、Wake up on LAN機能などを設定します。
セキュリティ (→P.5)	パスワードなどのセキュリティ機能を設定します。
終了 (→P.7)	設定値の保存や読み込み、BIOSセットアップの終了などを行います。

## 重要

- ▶ BIOSセットアップの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。  
あらかじめご了承ください。

## POINT

- ▶ ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動すると、設定変更のできる項目が制限されます。制限された項目はグレーに表示されます。
  - ・ 次の表は、ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動した場合に変更できる項目です。

メニュー	設定項目	
システム	システム時刻	
	システム日付	
	言語 (Language)	
詳細	イベントログ設定	イベントログの表示
セキュリティ	ユーザー用パスワード設定	
終了	変更を保存して終了する（再起動）	
	変更を保存して終了する（電源OFF）	
	変更を保存せずに終了する（起動）	

# 情報メニュー

BIOSやパソコン本体についての情報が表示されます。設定を変更することはできません。

設定項目	備考
型名	
カスタムメイド番号	
製造番号	
BIOS版数	
CPUタイプ	
全メモリ容量	1MB=1024 <sup>2</sup> バイト換算
メモリスロット1	1MB=1024 <sup>2</sup> バイト換算
メモリスロット2	1MB=1024 <sup>2</sup> バイト換算
MACアドレス	
UUID	

## システムメニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
システム時刻 00 : 00 : 00 ~ 23 : 59 : 59	【Tab】キー／【Enter】キー……右の項目に移動 【Shift】+【Tab】キー……左の項目に移動
システム日付 2000/01/01 ~ 2099/12/31	【Tab】キー／【Enter】キー……右の項目に移動 【Shift】+【Tab】キー……左の項目に移動
言語 (Language) □English (US) ■日本語 (JP)	「標準設定値を読み込む」を実行しても変更されない
ドライブ4	
ドライブ4 □使用しない ■使用する	
タイプ	
型名	
容量 1GB=1000 <sup>3</sup> バイト換算	
ドライブ2	
ドライブ2 □使用しない ■使用する	
回転速度 □低速 □中速 ■高速	高速に設定され設定変更不可
タイプ	
型名	

## 詳細メニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
起動デバイスの優先順位	<ul style="list-style-type: none"> <li>OSを読み込むデバイスの優先順位を設定します。<sup>注1</sup></li> <li>『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「起動デバイスを変更する」をご覧ください。<sup>注1</sup></li> </ul>
起動順位 #n	<ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 7の場合、ご購入時は次のように設定されています。           <ul style="list-style-type: none"> <li>起動順位 #1: ハードディスクドライブ</li> <li>起動順位 #2: CD/DVD ドライブ</li> <li>起動順位 #3: ネットワーク起動</li> </ul> </li> <li>Windows 8.1の場合、ご購入時は次のように設定されています。           <ul style="list-style-type: none"> <li>起動順位 #1: Windows Boot Manager</li> <li>起動順位 #2: UEFI: [HDDデバイス名]</li> <li>起動順位 #3: UEFI: [CD/DVDデバイス名]</li> <li>起動順位 #4: UEFI: IPv4 [LANデバイス名]</li> <li>起動順位 #5: UEFI: IPv6 [LANデバイス名]</li> </ul> </li> <li>「Windows Boot Manager」および「UEFI: [デバイス名]」の選択肢は、Windows 7では表示されません。</li> <li>お使いの状況によって、選択肢の表示順番が異なる場合があります。</li> <li>「CD/DVD ドライブ」はCD/DVDデバイスを接続した場合に表示されます。</li> <li>「UEFI: [CD/DVDデバイス名]」は、UEFI起動可能なディスクをセットしている場合に表示されます。</li> <li>UEFI起動デバイスから起動する場合は、BIOS起動デバイスより上位に設定してください。</li> <li>起動ドライブまたはディスクを交換すると、その順位が初期化され、最下位に追加されます。</li> <li>UEFIアプリケーションが優先順位を変更することができます。</li> </ul>
互換性サポートモジュール □使用しない □使用する	<ul style="list-style-type: none"> <li>「標準設定値を読み込む」を実行しても変更されない</li> <li>「セキュアブート機能」が「使用しない」のとき設定可能</li> <li>Windows 8.1の場合「使用しない」、Windows 7の場合「使用する」に設定されています。</li> </ul>

## □選択肢 ■初期値

設定項目	備考
ディスプレイ □外部アナログ ■液晶ディスプレイ	「互換性サポートモジュール」が「使用しない」時のみ設定可能
高速起動 □使用しない □使用する	・「標準設定値を読み込む」を実行しても変更されない ・Windows 8.1の場合「使用する」、Windows 7の場合「使用しない」に設定されています。
起動メニュー □使用しない ■使用する	【F12】キーによる起動メニュー呼び出しの設定 ・「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能 ・「管理者用パスワード」削除時は初期値に戻る
リムーバブルメディアからの起動 □使用しない ■使用する	リムーバブルメディア (CD/DVD ドライブやUSB メモリなど) からの起動設定
起動時の自己診断画面 ■使用しない □使用する	「使用しない」設定時は「FUJITSU」ロゴを表示
起動時の NumLock 設定 ■オン □オフ	Windows ログオン後は前回終了時の状態になる
エラー停止 ■全てのデバイス □キーボード以外 □なし	POST エラー検出時に起動停止する／しないの設定 ※注2
HTテクノロジー □使用しない ■使用する	対応CPU搭載時のみ表示
マルチコア ■使用する □使用しない	対応CPU搭載時のみ表示
USBコントローラー ■どちらも使用する □xHCIのみ □EHCIのみ	「どちらも使用する」： 内蔵USB3.0/2.0コントローラーを使用します。 「xHCIのみ」： 内蔵USB3.0／2.0コントローラーを使用します。 すべてのUSBデバイスはxHCIに接続されます。 「EHCIのみ」： 内蔵USB3.0コントローラーを使用しません。 USB3.0対応デバイスはUSB2.0デバイスとして機能します。
USB レガシーサポート □キーボード/マウス □使用しない ■使用する	
内蔵 LAN デバイス ■使用する □使用しない	

## □選択肢 ■初期値

設定項目	備考
ネットワークからの起動 ■PXE □使用しない	標準搭載のLANに対してのみ有効
SATA モード □IDE ■AHCI	
シリアルポート設定 ■使用する □使用しない	
I/O アドレス、割り込み番号 ■3F8/IRQ 4 □2F8/IRQ 3 □3E8/IRQ 4 □2E8/IRQ 3	「シリアルポート」が「使用する」時のみ表示
イベントログ設定	
イベントログ領域の状態	
イベントログ内容の状態	
イベントログの表示 > Enter	
イベントログの消去 > Enter	
イベントログ □保存しない ■保存する	

注1：ネットワークサーバーから起動するためには、「Wired for Management Baseline Version 2.0」に準拠したインストレーションサーバーシステムが必要となります。

注2：本設定で停止しないよう設定したデバイスのエラーでも、エラーメッセージは表示され、イベントログにも記録されます。

ただし、「キーボード以外」でキーボードエラーを検出した場合は、POST エラーは表示されず、イベントログにも記録されません。

## 電源管理メニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
AC 通電再開時の動作 □電源ON ■電源OFF □自動 □使用しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設定変更は再起動後に有効</li> <li>・電源OFF…通電再開時に一瞬電源が入り、WoLなど</li> <li>を初期化。その後電源OFF。</li> <li>・自動…電源断発生時の状態による。</li> <li>起動中、スリープは「電源ON」</li> <li>シャットダウン、休止状態は「電源OFF」</li> </ul> <p>※注1</p>
LANによるウェイクアップ ■使用しない □使用する	設定変更は再起動後に有効 ※注2 ※注3
時刻による電源ON ■使用しない □使用する	設定変更は再起動後に有効 ※注4 ※注5
時刻 00 : 00 : 00 ~ 23 : 59 : 59	「時刻による電源ON」が「使用する」時のみ設定可能
日付 00 ~ 31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・00…毎日指定時刻に起動</li> <li>・「時刻による電源ON」が「使用する」時のみ設定可能</li> </ul>

注1 : UPSなどを使って通電再開時に電源を投入させたい場合は、「電源ON」に設定してください。

注2 : 省電力状態（スリープ、休止状態）からレジューム（復帰）させることはできません。デバイスマネージャーでの設定が必要です。

注3 : Windows 8.1の場合、Windowsの高速スタートアップを無効にしてください。詳しくは、『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「Wake up on LAN を有効にする」をご覧ください。

注4 : 「AC 通電再開時の動作」を「使用しない」に設定した場合、停電などのAC電源切断が発生すると、次に本製品の電源を入れるまで本機能は使用できなくなります。

注5 : 省電力状態（スリープ、休止状態）からレジューム（復帰）させることはできません。タスクスケジューラまたはタスクでの設定が必要です。

## セキュリティメニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
管理者用パスワード	設定状況を表示
ユーザー用パスワード	設定状況を表示
管理者用パスワード設定 > Enter	『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「BIOSのパスワード機能を使う」をご覧ください。
ユーザー用パスワード設定 > Enter	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能</li> <li>・『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「BIOSのパスワード機能を使う」をご覧ください。</li> </ul>
起動時のパスワード ■使用しない □最初のみ □毎回 自動ウェイクアップ時 ■使用しない □使用する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能</li> <li>・「管理者用パスワード」削除時は初期値に戻る</li> <li>・LAN／タイマーなどによる自動ウェイクアップ時のパスワード要求有無を設定。</li> <li>・「起動時のパスワード」が「最初のみ」または「毎回」時に設定可能</li> <li>・「管理者用パスワード」削除時は初期値に戻る</li> </ul>
ハードディスクセキュリティ	電源投入直後にBIOSセットアップを起動した場合のみ設定可能。再起動後は設定不可。
ドライブ4用パスワード	設定状況を表示
ドライブ2用パスワード	設定状況を表示
ドライブ4用パスワード設定 > Enter	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能</li> <li>・『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「BIOSのパスワード機能を使う」をご覧ください。</li> </ul>
ドライブ2用パスワード設定 > Enter	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能</li> <li>・『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「BIOSのパスワード機能を使う」をご覧ください。</li> </ul>
起動時のパスワード入力 □使用しない ■使用する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再起動時は本設定に関係なくパスワード入力の要求はなし</li> <li>・「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能</li> </ul>

## □選択肢 ■初期値

設定項目	備考
TPM (セキュリティチップ) 設定	カスタムメイドでセキュリティチップ選択時のみ表示
セキュリティチップ □使用しない ■使用する	<ul style="list-style-type: none"> <li>「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能</li> <li>設定変更は再起動後に有効</li> </ul>
現在の TPM 状態	
TPM 状態の変更 ■変更しない □有効かつ使用可 □無効かつ使用不可	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定変更は再起動後に有効</li> <li>「管理者用パスワード」設定時で、かつ、「セキュリティチップ」が「使用する」時のみ設定可能</li> <li>セキュリティチップの状態によっては、表示されない項目がある</li> </ul>
セキュリティチップのクリア > Enter	<ul style="list-style-type: none"> <li>クリアは再起動後に実行</li> <li>「セキュリティチップ」が「使用する」時のみ表示</li> <li>「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能</li> <li>「現在の TPM 状態」が「有効かつ使用可」の場合のみ選択可</li> </ul>
セキュアブート設定	
セキュアブート	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定状態を表示</li> <li>Windows 8.1 の場合「有効」、Windows 7 の場合「無効」に設定されています。</li> </ul> <p>※注1 ※注2</p>
署名情報の保護	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定状態を表示</li> <li>「無効 (セットアップモード)」または「有効 (ユーザーモード)」が表示されます。</li> </ul>
署名情報の状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定状態を表示</li> <li>「標準」または「カスタム」が表示されます。</li> </ul>
セキュアブート機能 □使用しない □使用する	<ul style="list-style-type: none"> <li>「標準設定値を読み込む」を実行しても変更されない</li> <li>「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能</li> <li>Windows 8.1 の場合「使用する」、Windows 7 の場合「使用しない」に設定されています。</li> <li>「使用する」に設定した場合、「互換性サポートメニュー」は「使用しない」に設定されます。</li> </ul>
署名情報のカスタマイズ > Enter	「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能
署名情報の初期化 > Enter	「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能

## □選択肢 ■初期値

設定項目	備考
Virtualization Technology □使用しない ■使用する	対応CPU搭載時のみ表示
Intel(R) VT-d ■使用しない □使用する	<ul style="list-style-type: none"> <li>対応CPU搭載時のみ表示</li> <li>「Virtualization Technology」が「使用する」時のみ設定変更可能</li> <li>「Virtualization Technology」を「使用しない」に変更すると初期値に戻る</li> </ul>

注1：「セキュアブート機能」が「使用する」で、Windows 8.1 (UEFIモード) 以外のOSから起動した場合、「起動可能なデバイスが見つかりませんでした」などのメッセージが表示されます。また、起動メニューから起動デバイスを選択した場合に、「選択したデバイスから起動できませんでした」と表示されます。

注2：Windows 8.1のモード (UEFI／レガシー) は、次の手順で確認できます。

- 1 Windows 8.1を起動します。
- 2 【Shift】+【C】キーを押すか、チャームを表示します。
- 3 「検索」をクリックし、「msinfo32」と入力して【Enter】キーを押します。
- 「システム情報」が表示され、「BIOS モード」の項目に「UEFI」または「レガシー」が表示されています。

## 終了メニュー

項目を選んで【Enter】キーを押すと、確認画面が表示されます。

設定項目	備考
変更を保存して終了する（再起動）	
変更を保存して終了する（電源OFF）	
変更を保存せずに終了する（起動）	※注
標準設定値を読み込む	次の項目は対象外 ・言語（Language） ・システム時刻 ・システム日付 ・互換性サポートモジュール ・高速起動 ・管理者用パスワード ・ユーザー用パスワード ・ハードディスクパスワード ・セキュアブート機能

注：確認画面で「はい」を選択すると、変更が保存されてしまいます。「いいえ」を選択してください。